

都市計画事業

阪急電鉄京都線（摂津市駅付近） 連続立体交差事業



※写真はイメージです



大阪府
もずやん

©2014
大阪府もずやん



摂津市
セッピー



茨木市
いばき童子



阪急電車

大阪府・摂津市・茨木市・阪急電鉄株式会社

阪急電鉄京都線（摂津市駅付近）連続立体交差事業について

事業概要

- 事業延長：約2.1km
（摂津市域約1.5km、茨木市域約0.6km）
- 踏切除却数：5箇所
（うち「開かずの踏切」1箇所）
※開かずの踏切：ピーク時間の遮断時間が1時間あたり40分以上の踏切
- 高架化対象駅：1駅（摂津市駅）

事業経過

- 平成29年2月 都市計画決定
- 平成30年2月 都市計画事業認可
- 令和元年～ 用地取得
- 令和5年～ 準備工事
（付替道路、文化財調査等）
- 令和8年～ 鉄道工事着手

事業の目的

阪急電鉄京都線は、大阪梅田駅と京都河原町駅を結ぶ鉄道で、当該事業区間においては、平成22年3月の摂津市駅の開業により、駅東側では、摂津市立コミュニティプラザや集合住宅等が整備されました。

しかしながら、摂津市駅周辺の踏切では、開かずの踏切などにより慢性的な交通渋滞が発生し、また、鉄道により地域が分断され、地域活動の支障となっています。

このため、連続立体交差事業により鉄道を高架化し、5箇所の踏切を一挙に除却することで、交通渋滞や踏切事故を抜本的に解消するとともに、市街地の一体化を図り、また消防車等緊急車両の迅速性が確保されるなど、地域の発展に大きく寄与するものです。

事業の効果

- 1.踏切の除却により、交通渋滞や踏切事故が解消します。
- 2.駅前広場等の整備により、利便性が向上します。
- 3.高架下空間の利活用により、地域の活性化に貢献します。
- 4.鉄道により分断されていた街が一体化されます。

安全・安心

踏切事故の解消

連続立体交差事業による

まちづくり

快適

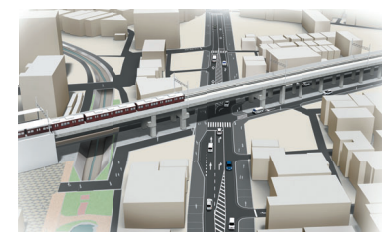
交通渋滞の解消

発展

分断から一体化へ

1 道路交通の円滑化

踏切除却による
交通渋滞や踏切事故
の解消



3 高架下空間の利活用

高架下空間の活用による
新たな賑わい空間の
創出

高架下利用の事例
（阪急京都線洛西口駅付近）



2 交通結節機能の強化

駅前広場等の整備による
利便性の向上



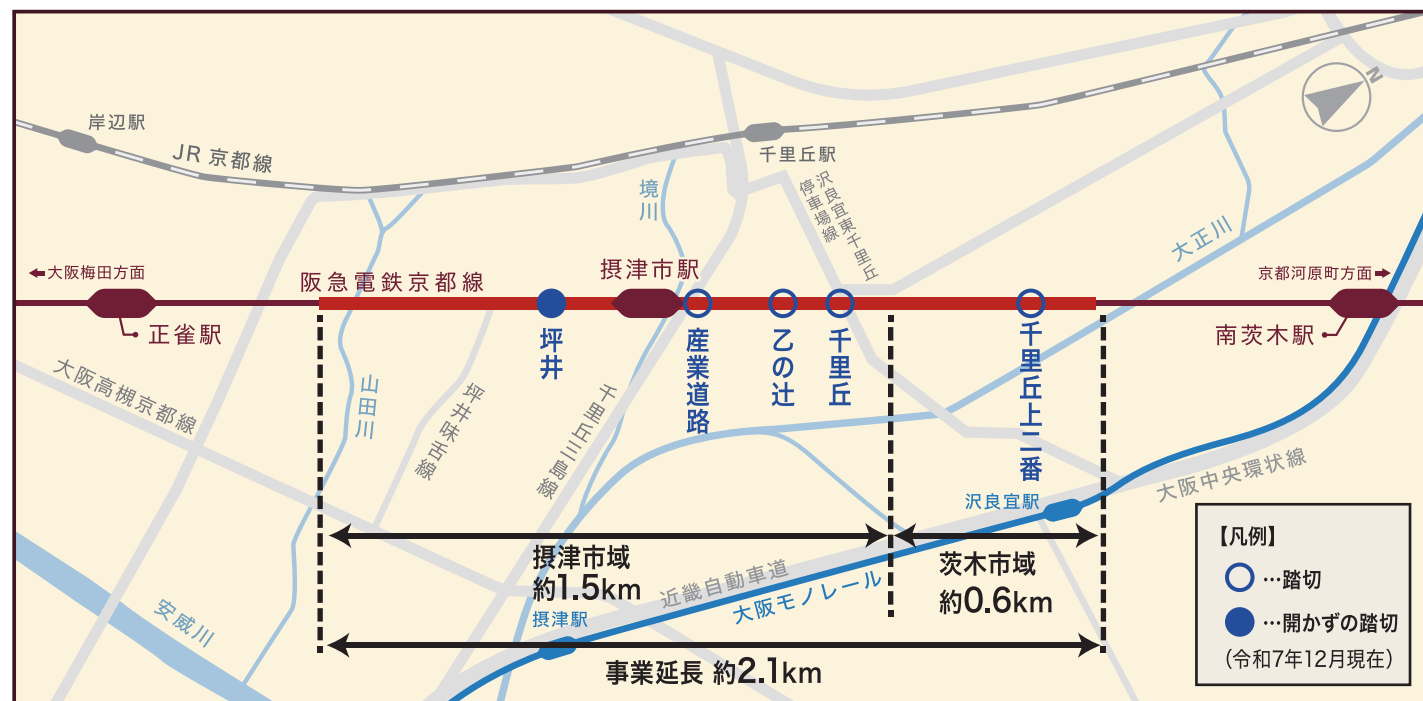
4 沿線地域の環境改善

環境側道や高架化による
地域分断の解消

高架横断道路の事例
（阪急京都線洛西口駅付近）



事業概略図



鉄道工事の進め方

仮線方式

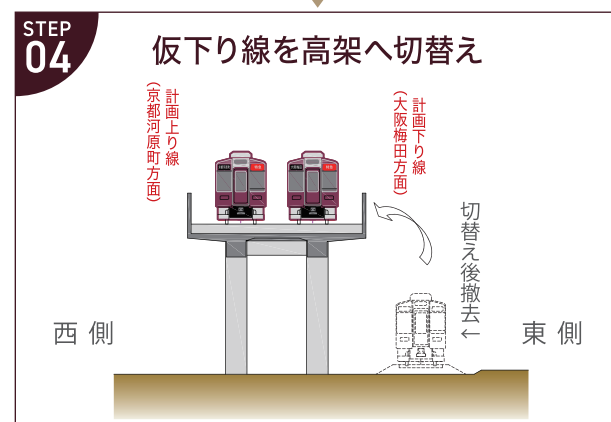
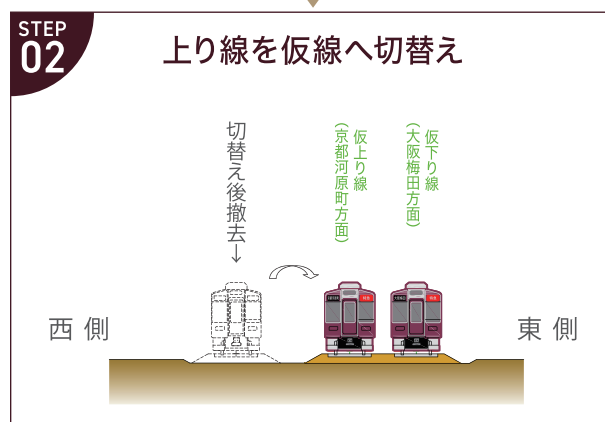
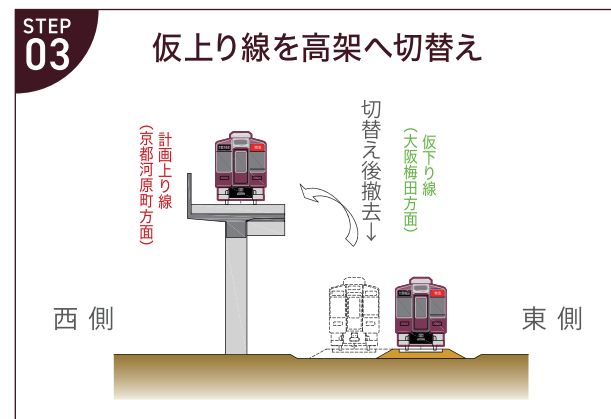
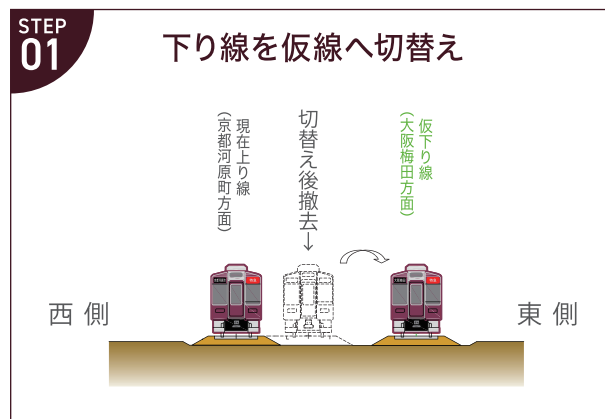
現在線を仮の線路に切り替え、現在線跡地に新しい高架橋を造る施工方式です。

【仮線工事】

- ・現在線の横に仮線を敷設し切替え

【高架化工事】

- ・現在線跡地に高架橋を建設し、仮線から高架橋に切替え



阪急電鉄京都線（摂津市駅付近）連続立体交差事業 実施箇所



当該区間の連続立体交差事業は、大阪府が事業主体となり、「道路整備」の一環として行う都市計画事業です。

お問合せ先

本事業及び道路（府道）に関すること

大阪府
茨木土木事務所 建設課
TEL:072-627-1121 (代表)

道路（市道）に関すること

茨木市
建設部 建設管理課
TEL:072-622-8121 (代表)

用地取得及び道路（市道）に関すること

摂津市
建設部 連続立体交差推進課
TEL:06-6383-1111 (代表)

鉄道計画に関すること

阪急電鉄株式会社
交通プロジェクト推進部 連立・受託工事担当
Hankyu TEL:06-6373-5031

阪急電鉄京都線(摂津市駅付近)連続立体交差事業 平面図

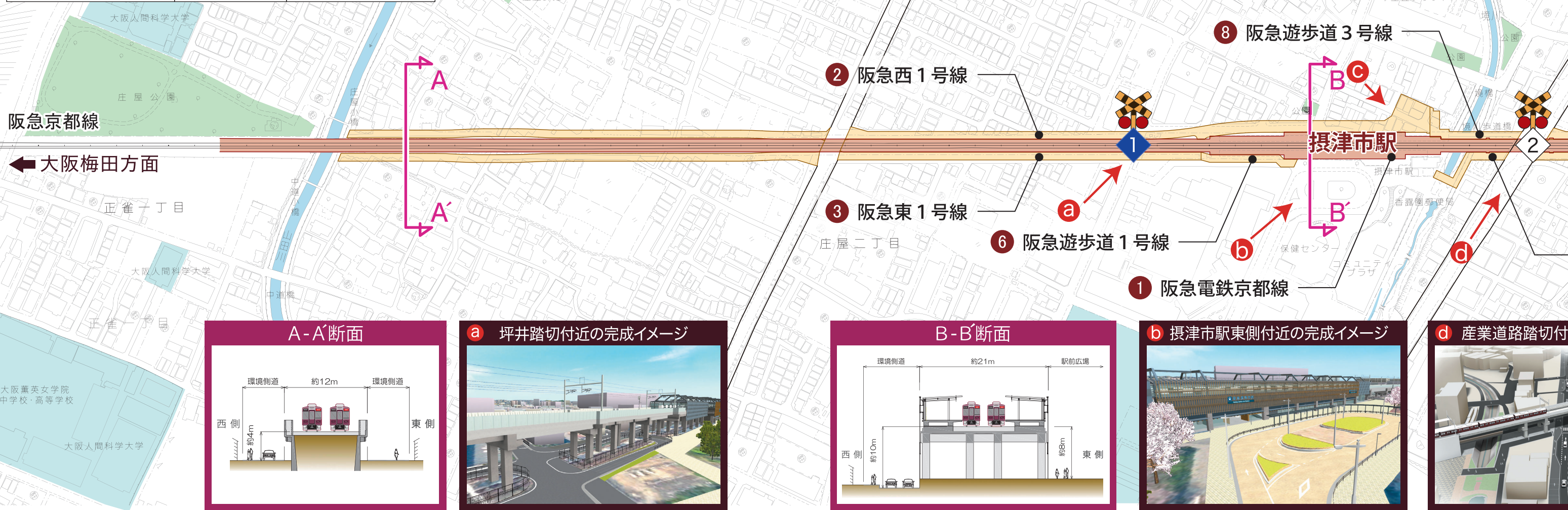
路線名称	延長	幅員
① 阪急電鉄京都線	2,063m	W=9.9m ~ 20.7m
② 阪急西1号線	832m	W=6.0m ~ 9.0m
③ 阪急東1号線	663m	W=6.0m
④ 阪急西2号線	394m	W=6.0m ~ 9.0m
⑤ 阪急東2号線	410m	W=6.0m
⑥ 阪急遊歩道1号線	75m	W=6.0m
⑦ 阪急遊歩道2号線	70m	W=6.0m
⑧ 阪急遊歩道3号線	71m	W=6.0m

【凡例】

- 都市高速鉄道(阪急電鉄京都線)
- 都市計画道路(環境側道)
- 踏切
- 開かずの踏切(令和7年12月現在)

0m 40m 100m

千里丘東五丁目



断面図

大阪梅田方面

